



福祉と住環境を考える ふくてっく

2004年3月
第57号

特定非営利活動法人
ふくてっく

559-0034大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟 11F Iビル
TEL/FAX 06-6614-6800 ホームページ http://www.osakacity-vnet.or.jp/link/hukuteku/

暮らしを支える 住まいと 福祉用具



1月定例学習会
平成16年1月10日(土)
大阪市職業リハビリテー
ションセンター
金井 謙介 氏

大阪市援助技術研究室で
は、大阪市補装具・福祉機
器普及事業として、主に
①相談事業、②研究開発事
業、③普及活動を行って
います。援助技術 (Assistive
Technology) とは、障害あ
る人の機能的能力を増大・
維持・改善させる装置やシ
ステム (AT Device) と、そ
れらの選択・入手・利用を
直接支援するあらゆるサー
ビス (AT Service) の両方
を指す概念です。
相談事業は2名のOTと
私 (建築分野) の3名が担
当し、年間200件程の相
談に対応しています。重度

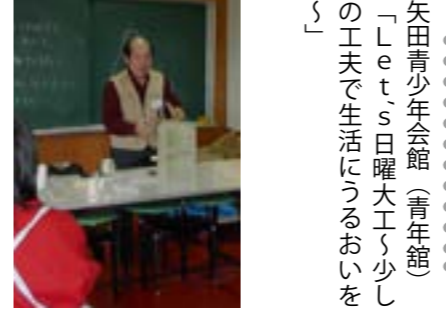
の方が多く、また筋ジスや
ALSなど経年で機能低下
して行くケースでは継続的
な取り組みが必要となりま
す。既製品では対応できな
い人に対する臨床工学的な
サービスも行っています。
相談はほとんどが訪問に
よって行われますが、大阪
市からの委託事業ですから
利用者の負担はありません
(無料)。これらの相談事
業を様々な課題を抽出
して、次に説明する研究開
発事業につなげています。
相談事業は一人一人への
サービスですが、研究開発
事業は多くの人に応えるも
のです。一例を挙げると、
「シーティンググリニック
評価チャート」を開発しま
した。これは、車いすに
座っている様子を前、横、
上部から移した真をもとに
パソコンによる解析で評価
をし、身体に合った車いす
を処方することができるシ
ステムです。これにより、
遠方の人にも援助をするこ
とが可能となります。
普及事業では、例えばA
LSの方を支援している人
を対象としたAT講習会を
独自に開催したり、大学や
専門学校で講義を行ったり
して、ATに関する普及を
行っています。

したが、ここからは具体的
な福祉用具や住まいにつ
いてお話ししたいと思いま
す。
まず、松葉杖についてで
すが、脇が痛くないとか、
有効な推進力が得られると
いった機能性を中心に開発
を進める考え方がありま
す。これは大変なこと
です。しかし、実は違う視
点が必要なのです。モノが
生活の中でどのように扱わ
れるのかということです。
私の使用している松葉杖は
折り畳むことができ、テー
ブルの縁に掛けられます
し、車に乗る際にも便利で
す。つまり、杖として使っ
ていない時の課題があるの
です。また、これはカナダ
製ですが、製造中止になっ
てしまっています。モノが
ノが安定して供給されるよ
う、企業活動が持続できる
環境づくりも大切な課題で
す。

また、杖を使う生活で
は、衣服の脇の所が痛んだ
り、黒ずんだりしやすいの
で、服装が限定されやす
い、あるいは荷物を持てな
い、傘がさせないなどいろ
いろな生活上の課題があり
ます。また、杖先のゴムが
片減りして滑りやすくなっ
てしまうので、建築の床材
や水の存在なども関連しま
す。
その人が望む生活とは何
かを考えねばなりません。
例えば、自宅に入浴でき

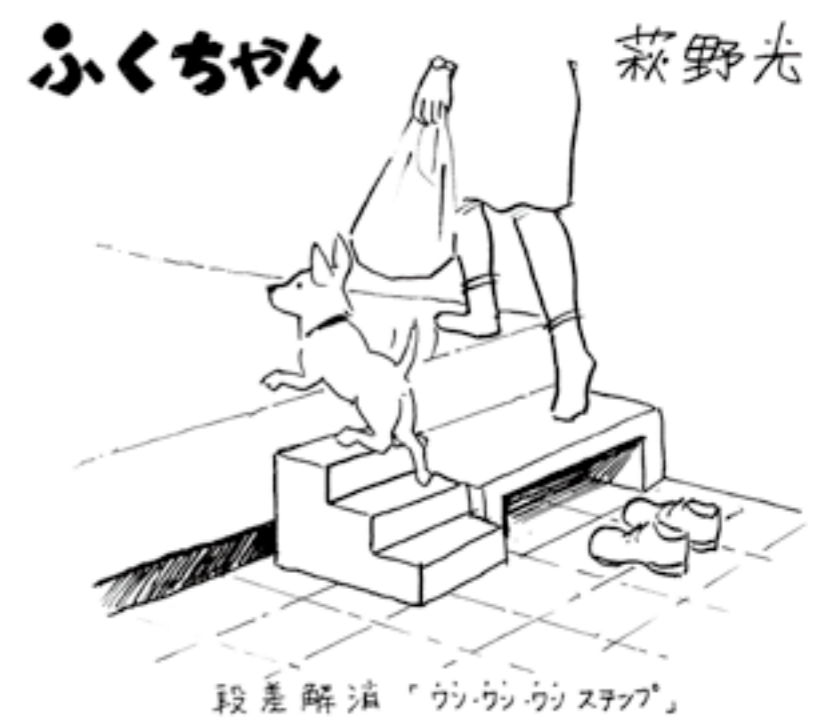
る事がいいからと、支援者
が浴室を整備しても、管理
ができないとか、何かあつ
たら不安だとか、水がもつ
たいなどといった理由
で浴室が使用されていない
場合もあります。このよう
に時として支援者の価値観
の押しつけとなっている場
合もあります。我々はその
人らしい暮らしができるよ
うに支援していることを忘
れてはいけません。人それ
ぞれに望む生活は異なりま
す。
その人の生活をどう捉え
るのが。生活は人と社会の
関係で成立するものです。
障害のある人の生きにく
さは、疾患や障害の程度だ
けでなく、物理的環境や
制度、周囲の人などの相
互作用で生じています。で
すから、その人の望む人生
を送るのに何が阻害要因と
なっているかを総合的に把
握し、その阻害要因を1つ
1つ取り除いていくことが
大切です。福祉用具や住ま
いづくりは暮らしを支える
一つの手段に過ぎません。
その人自身が生活をどう組
立てようとするかが肝心な
のです。
(記 中北 清)

★日曜大工教室



1月27日〜3月2日
この度初めて、ここ「矢
田」(東住吉区)でのふく
てっくの教室。「持ちあ
じ豊かな2名の生徒さんた
ち」を迎えて、楽しく白く
そして元気よく、計5回の
プログラムを用意して開催
されました。
第1回目は「ふくてっく
のご挨拶、この講座全の
案内」(担当 中北)と、
これからの「楽しい木工の
ための基礎知識」について
(担当池端)の講座で入

「Let's 日曜大工」の
企画・運営に当たっていた
だいた矢田青少年会館の五
條様にはいろいろのご配慮
を賜り誠にありがとうございました。
またいつか「ふ
くてっく」がお役に立てる
た。
熱心にお聞きいただきまし
た。こちらにも楽しい雰囲気の中、
止、元気の秘訣のお話。こ
ちも楽しんで雰囲気の中、
アフリー」の講座(担当
ただけらと「今、お住まい
の中でも簡単に出来るバリ
の皆さんにもっと
身近に感じていた
最終回はご参加
の皆さんにもっと



ターゲット。
2・3・4回目
は実習の時間。今
回は「スパス
ラック」と「汽
車のペン立て」作
りに取り組んでい
だきました。各
回、杉浦・有馬両
氏から作業の手順
や仕上げ方のポイ
ント等、分かり易
い説明のあと、皆
さんそれぞれ「持
ちあじ豊かな」作
品を作りあげてく
れました。中に
は「それはそれは
ユニーク」な仕上
げを見せていただ
き、私たちも大い
に参考になったも
のです。



冊子のご紹介
「安心・安全・
安らぎの家」
介護保険制度と共に高齢
者の福祉は施設から在宅へ
と移りつつあります。住ま
いを考えるにあたって、高
齢者のみならず、誰もが快
適に暮らし続けることは、
とても重要なポイントで
す。
住まいの中のどこに危険
があるのか。どんな工夫を
すれば安心に暮らせるの
か。リーフレットの中で、
おじいさんとおばあさんが

ご案内します。
2000年に発行しまし
たこのリーフレットは皆様
に大変ご好評頂き、お陰で
今回増刷の運びとなりました。
増刷に際し内容の見直
しも行って、改訂版として
装いを新に発行致します。
さらに、介護保険の内容の
中で、「住まい」に関する
部分をピックアップして紹
介する「冊」付きとなっ
ています。
建築士の視点で作成した
リーフレットです。暮らし
のヒントにご活用下さい。
価格 500円
発行 大阪府建築士会
女性委員会シル
バー イフ研究会
*ご希望の方はふくてっく
事務局に注文書があります
のでFAXします。

定例会のお知らせ

4月
日時 4月3日(土) 午後1時 30分〜5時
場所 大阪市立社会福祉センター 会議室
5月
日時 5月1日(土) 午後1時 30分〜5時
場所 大阪市立社会福祉センター 会議室
学習会 (テーマ未定)
講師 谷口 昌宏氏 理学療法士・ケアマネー
ジャー 住之江介護支援センター さざ
なみ
*例会終了後に臨時総会予定



むつき庵

見学会の報告

悩まないで！
ピッタリのおむつで
生活の質を向上

◆200種類以上のおむつを展示・排泄用具の情報館「むつき庵」

2月25日、京都駅からバスで堀川下立売まで五分、日本料理のお店かと見まがう和風建築のスーパーを曲がって3分、昨年の二月にオープンした「むつき庵」に着きました。

入り口のま新しい真っ赤な扉、「押しもだめなら引いてみよ」とばかり押し

たり、手前に引いたりしても扉は開きません。試みに横に引くと扉はスルスルと開きました。あ、そうか、車いすのお客さんのためなら、後からの来館者がみんなどんどんと同じことをやっていると見て、折角の配慮も健常者にはしないのかと残念でした。しゃれた扉は引き戸のイメージがない？取っ手の形のせい？直感的に横に引いて開けてくれる（こうなればユニバーサルデザイン）扉にするには？やはり表示がなかったら目？いきなり「開ける」難しさを考えさせられ

ました。頭を切り替えて室内を見渡すと、まず目に飛び込んだのが、おむつが並んだ棚、棚、棚。その棚を埋め尽くしているのは、200種類以上のおむつやおむつカバーやパットなど。デパートの下着売り場のなまめかしさも感じられるのは、淡いピンクやブルーなど優しい色使いが混じっているせいでしょうか。誰にも言えない排泄の悩みもここではすんわりと言えそうなので、霧囲気です。

人それぞれ尿の出方も回数も違います。ここなら違和感なくフィットするものを選ぶことが出来る、生活の質も上がることでしょ。数年前子どもたちに使ったのは桁違いにソフトなオムツカバー、痴呆で歩きまわる人には腰で止まるもの、ガードルのようにヒップアップ効果のあるパット用パット。パットが落ちそうで落ちない男性用パット。男性用のものも意外にたくさんあったのは驚きでした。京都まで来なくても大阪ATCエイジェンセンターにもこれだけ並んでいたらいいなと思わず独り言を言ってしまうし



(福祉用具研究部 三浦 久子)

新しいホームページができました



～ふくてっくわくわくネットワーク～
今春、研修部のホームページ「ふくてっくわくわくネットワーク」が芽吹きます。
例会や研修会に参加できない方にも、インターネットを介して参加していただければと思います。イベント・研修情報・住環境に関する学習ページの他、掲示板も設けましたので、ご意見やご質問、情報交換にご活用ください。
まだまだ弱々しい新芽ですが、皆さんと一緒に育っていきたく思っております。
木となり、林となり、森となることを夢見ています。
URL : <http://www.h7.dion.ne.jp/~fukunet/>
(研修部 清水 麗子)

町屋改造による 小規模多機能 ハウスの実現報告



西村さん 畑氏 立

2月定例学習会
平成15年2月7日(土)
住宅改修部リーダー
(株)HATA設計代表
畑 俊治 氏

* * * * *
日本人の平均寿命は男子78才、女子85才。ということは女性の半数は60才を超えて生きるという事であり、老後どこに住むかという事がいざ大問題となる。余談だが、男女の差が7才にもなるが、大阪の女性はどうかというと、都道府県では青森県が男女とも最下であるが、大阪の女性はワースト2になってい

る。これには、大阪の女性はけちで健康診断も受けなからという説もあるが、実は大阪には「呼び寄せられ老人」が多く、そうした人が1ヶ月程度でたちまち痴呆になる傾向があることと、食べ物がおいしいので栄養過多となり、これが様々の疾病の因となっている（このことらしい）。

介護保険3施設（特養・老健・療養型病床）の合計は現在約60万床の規模で、これは5才超人口約2400万人の4%弱（ドイツ2%、北欧8.5%）しかなく、2005年目標のゴールドプランにおいて100万床。その後は財政事情もあって増床は期待できない。全国には痴呆老人が170万人いるといわれており、その大半が施設入所できない計算である。

在宅か施設か。老人の多くは在宅で最後を迎えたいと思っているが、在宅にも限界がある。老後の住まいとしては、前述の介護保険3施設以外に、グループホームや有料老人ホーム、その他がある。グループホームは、現在約3000ヶ所になっており（この3年で20倍になった）、要介護1〜2の共同生活できる老人が住んでい

る。有料老人ホームは特定施設入所者介護の指定を受ければ介護保険が適用される。現在4万5千床であるが、5万床が必要だと言われている。



しかしながら、施設での生活には3つの抑制（言葉・薬・そして身体）が大きな問題となる。こうでもしないと人手が間に合わないのだ。そして、今後はこんな施設も建設されなくなるのである。

そこで着目されているのが小規模多機能ハウスといわれるもので、これは①デイサービス②訪問介護支援③ショートステイ④介護付き居住の4つの機能を併せもつものである。特養が1つの施設の中で24時間のケアを用意しているのに対して、地域という広がりの中に、その体制をつくるための拠点となるものと期待されている。

今回紹介するのは、

既存家を改修して4人が生活できるホームとしたものだが、その改修費は約700万円です。特養を整備する場合には、施設整備だけで1床あたり1500万円はかかるのに比して、圧倒的に負担が少くない。

厚労省のイメージでは8〜10人規模だが、今回はそれよりも小規模となった。問題は、気が合わないと難しいという事で、特に男性はこうした共同生活には合わないようだ。女性が可能なのは、忍耐強いからではなく、そもそも他人を気にしないからだと想像している。（笑）

西村加奈子さん（水仙の家主任）の話
水仙福祉会は風の子保育園からスタートして、必要を感じ、障害児の所を担うてきたが、障害児が長ずるに従って障害者所、そして作業所、グループホームと徐々にその行き場を創ってきました。目の前に困っている人がいれば手を差しさる。時間外であつても二ドがあれば対応します。

在宅を支えるショートステイも特養では慣れた場でもなく、またやはり集団生活を強いられます。デイサービスでショートステイができたらいいなと思っていました。

痴呆になる方にも、身寄りのない人、身寄りはあるても甥や兄弟が倒をみていて、少し愛情に欠けるという事も多いのです。担当の専門員が決まるとこれ幸いと離れて行く家族。そんな身寄りのない人のためのグループホームが欲しいと思っていました。適当な空き家がないか、いろいろ探しまわった結、近くに古い長屋の一面を売りに出す情報を知り、改修の設計を畑さんにお願したら、元の状態からは信じられない姿に生まれ変わりました。介護保険対象にはならない活動で大変ですが、様々なニーズに応えて行きたいと思えます。

(記 中北 清)